

視察報告

先進地に学ぶ

総務常任委員会で

7月6・7・8日、佐賀県、福岡県の3市町を行政視察しました。

有田焼創業400年

佐賀県有田町

大山寺開山1300年事業を控え、来年「有田焼創業400年」の事業を行う有田町を視察した。

観光客向け無線LANサービス、空き店舗を活用したテストマーケティング、大みそかのカウントダウンイベントなど参考になる取り組みが多い。

また、実行委員会の中の部会では、教育委員会を中心に子どもたちが主役になれる企画を現在検討中とのことであった。ふるさと教育の一環として、本町でもぜひ検討したい。



磁石場を訪ねる

Facebookで情報発信

佐賀県武雄市

市立図書館が「TSUTAYA」に運営委託されたことで話題になった武雄市。ほかにも先進的な取り組みが多く、情報発信と教育改革(タブレット学習、官民一体型学校)を視察した。

情報発信では、Facebook(フェイスブック)を積極的に活用し、市の内外にさまざまな情報を発信し、毎月300万件の閲覧がある。

視察の成果を生かし、早速本町議会でもFacebookの活用を始めました(31pの記事もご覧下さい)。

※世界最大規模のSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)インターネットを使ったコミュニケーションサービス

窓口業務を民間委託

福岡県糸島市

合併後に職員数を削減するなかで、市民サービスの質を維持する必要があり、窓口業務の民間委託に取り組んだ。年間約1千万円の経費削減になっている。



全国初のフェイスブック・シティ課

導入前には、さまざまな懸念の声があつたそうだが、市民サービスに特に問題はなく、窓口や電話での対応が省力化されたことで、職員が事務に専念できスキルアップや料金徴収率向上につながっている。

武雄市同様、できない言い訳より「できるように努力する」姿勢が特徴的で、意識改革の重要性を感じた。